

All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

個人投資家の皆さまへ

2025年12月4日

古河電気工業株式会社 代表取締役社長

森平 英也

- 会社概要
- 「古河電工グループ パーパス」について
- 注力する分野と主な事業
- 財務・業績の状況
- おわりに

All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

会社概要

グローバルに様々なビジネスを展開

連結売上高

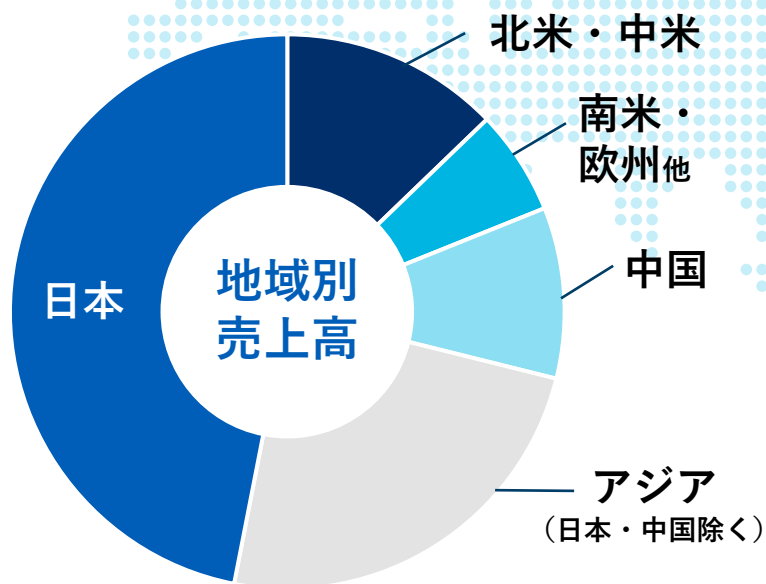
12,018億円

連結営業利益

471億円

親会社株主に帰属する当期純利益

334億円



海外売上高比率

53%

連結従業員数

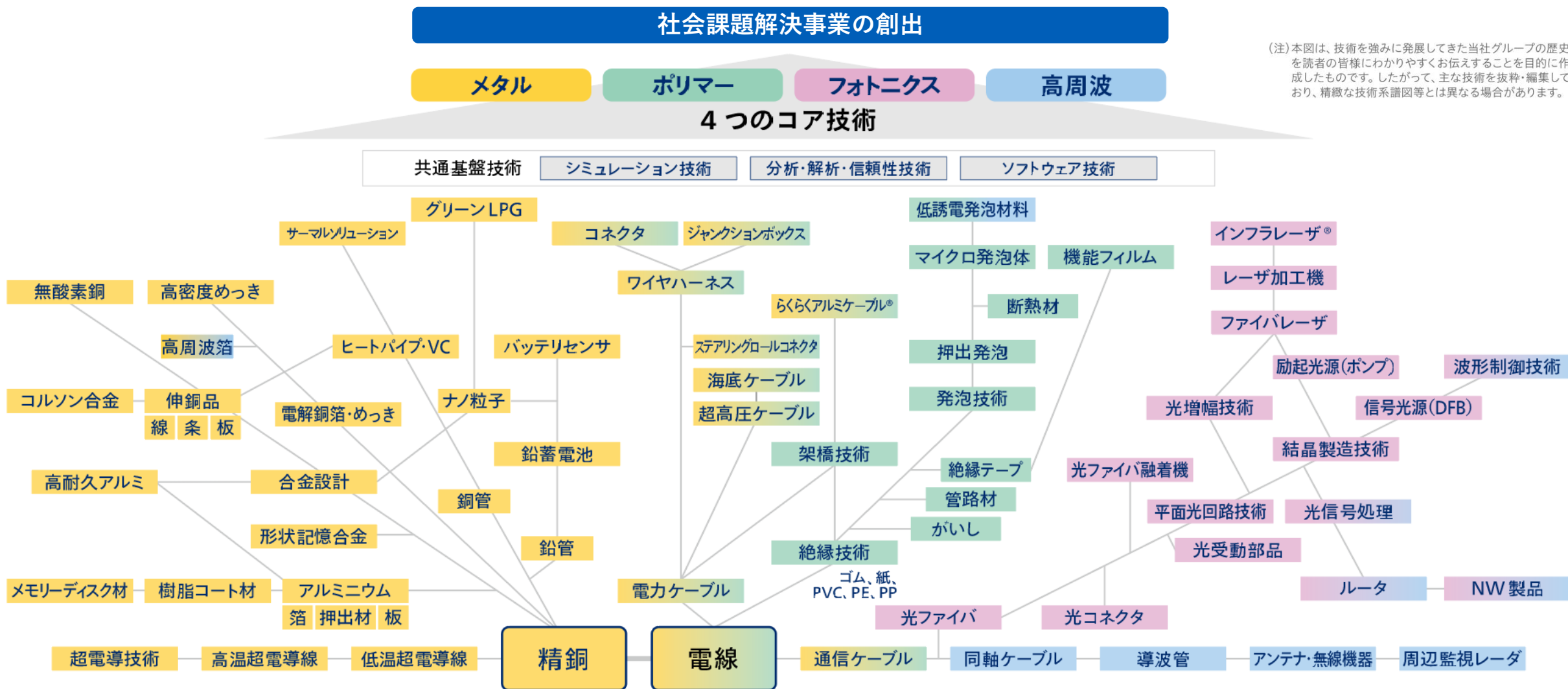
51,167名

連結グループ会社数

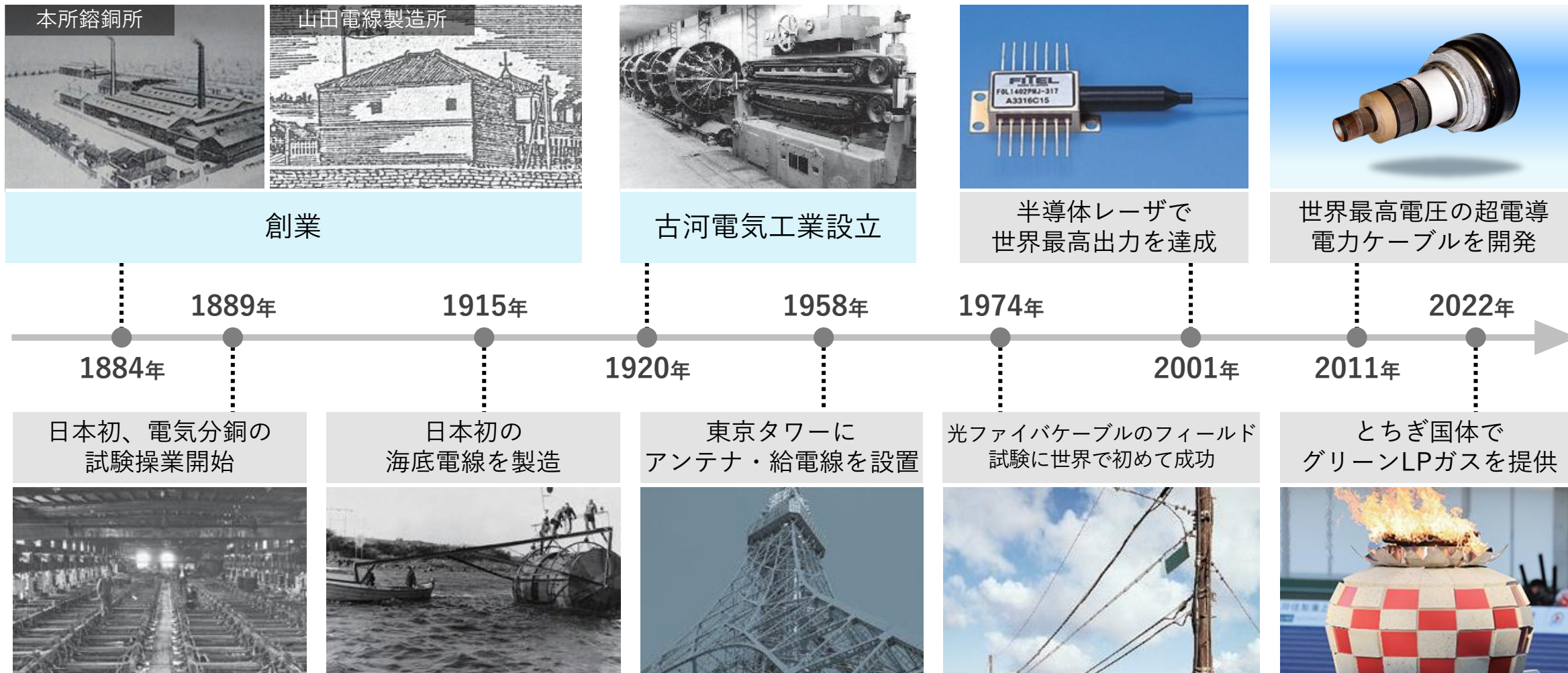
127社※

※：古河電気工業(株)単体、連結子会社116社および持分法関連会社10社の合計

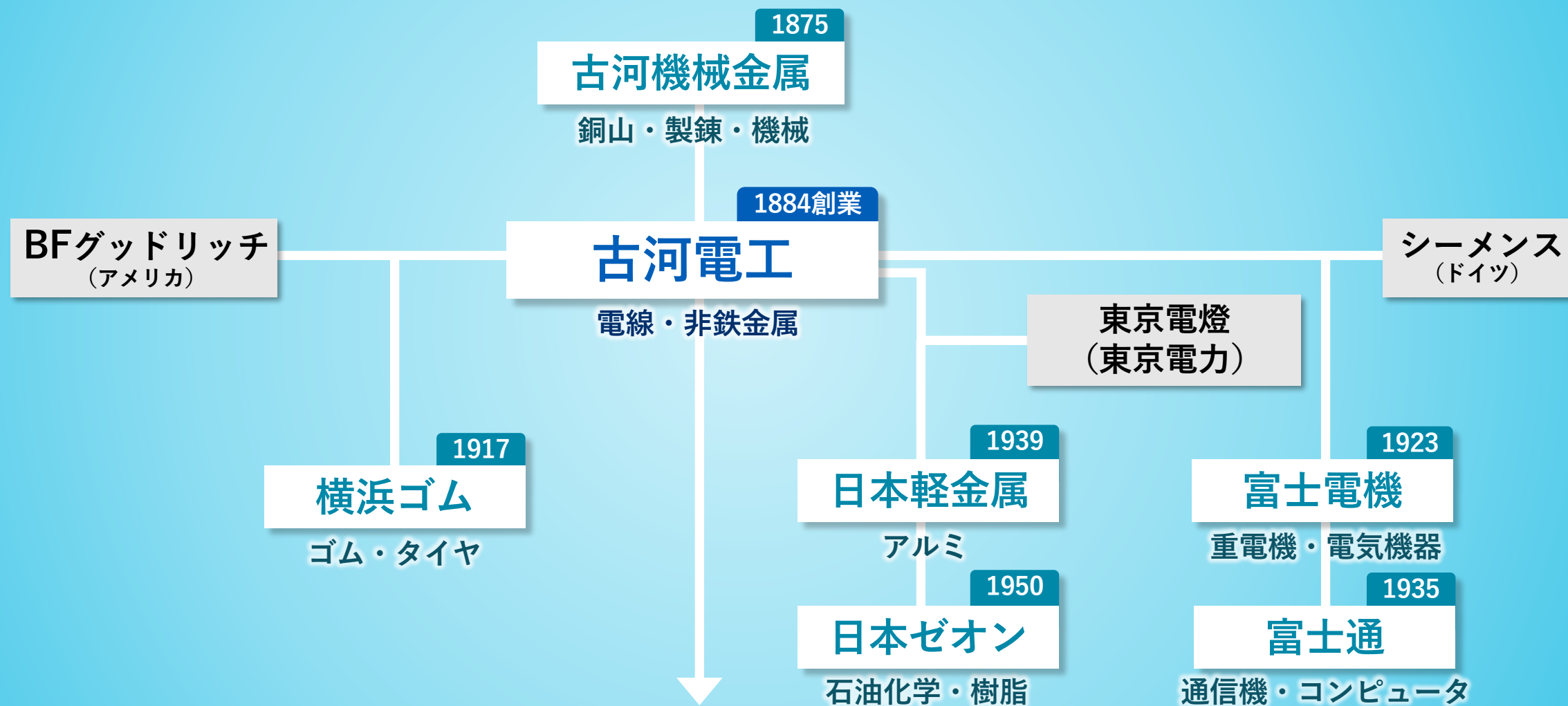
電線・精銅から始まり、今日に至るまで、社会インフラ領域を中心に多様な事業を展開



創業から140年を超える当社グループの製品は多くの領域で社会に貢献



社会に貢献する多くの企業を輩出



「メタル」「ポリマー」「フォトリソ」「高周波」の4つのコア技術を強みに、各事業分野において多岐にわたる製品を展開

迅速な対応力と柔軟な提案力で、
差別化製品を提供

機能製品



情報通信ソリューション

安全・安心の次世代インフラを
支える光通信技術



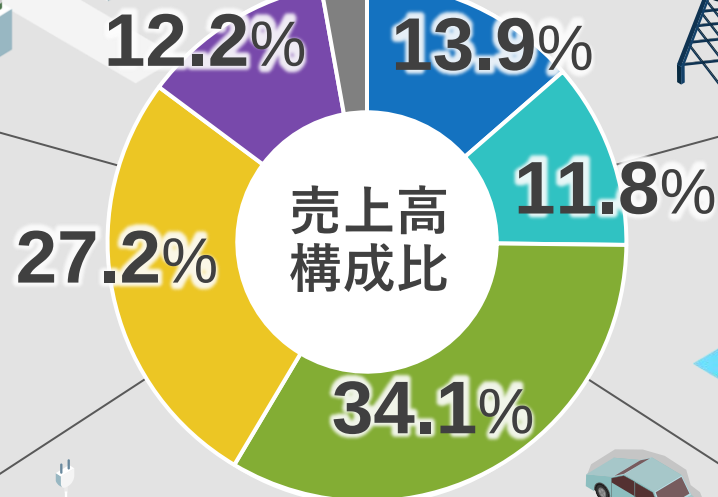
電装エレクトロニクス材料

高性能な素材開発力を活かし、
エレクトロニクス技術の発展に貢献



エネルギーインフラ

高度な技術開発力や施工能力、
安定した品質で社会インフラを支える

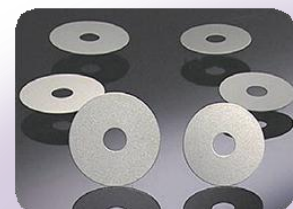


自動車部品・電池

人と車と世界をつなぎ、
より安全で快適なモビリティの未来を支える



国内外に誇るシェアトップクラスの製品群



ハードディスクドライブ用
アルミブランク材

世界 No.2



地中埋設用ケーブル保護管
「エフレックス」

国内 No.1

機能製品

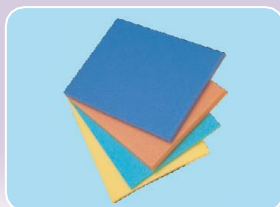
情報通信 ソリューション



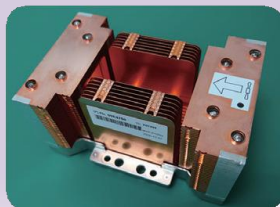
光ファイバ・ケーブル
世界トップクラス



通信用波長可変光源
世界トップクラス



架橋発泡ポリオレフィン
世界トップクラス



ヒートパイプ式ヒートシンク
世界トップクラス



エネルギーインフラ



海底用電力ケーブル
国内トップクラス



高機能型低圧アルミ導体
CVケーブル
国内 No.1

電装エレクトロニクス材料



チップインダクタ用極細平角線
世界 No.1

自動車部品・電池



鉄道車両用アルカリ蓄電池
国内トップクラス



ステアリング・ロール・コネクタ
世界 No.1



ワイヤハーネス
国内トップクラス

All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

「古河電工グループ パーパス」について

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、 世界を明るくする。

日々の当たり前の暮らしが、安心・快適につづくこと。
今日よりも豊かな明日へ、社会の進歩・発展がつづくこと。
人と地球の共生が、いつまでも幸せにつづくこと。

よりよい未来へとつながる、そんな「つづく」を、
絶え間ないイノベーションで、つくり、支える。
それが、私たちの存在意義。

さまざまな社会課題に向き合い、
インフラをはじめ、あらゆる領域を超えて挑戦する。
1884年の創業以来、誠実に磨きつづけてきた、
技術力と提案力を強みに。

私たちは今日もつくりだす、未来への「つづく」を。
世界を明るくするために。

All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

注力する分野と主な事業



データセンタの進化に貢献する当社のソリューション

生成AIの発達に伴い進化するデータセンタの課題解決に貢献する製品群を展開

課題

「大容量・高品質」
「低遅延」
「低消費電力」
通信の実現

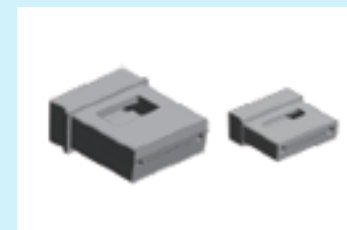
高発熱化への
対応

課題解決に貢献する当社の製品群

ローラブル
リボンケーブル



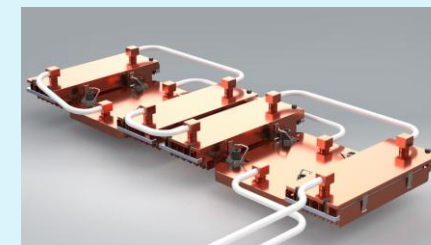
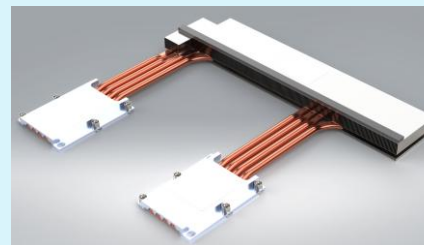
MTフェルール



DFBレーザ
チップ



放熱・冷却システム



生成AIの発達による
**演算処理の
高度化**と、
それに伴う
**データ量の
爆発的な増加**

データセンタ関連製品の状況

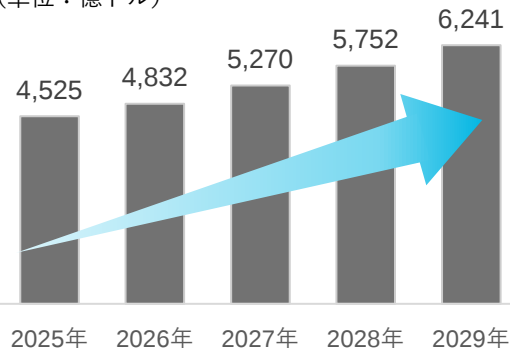
データセンタ関連製品の製造能力を増強。さらに拡大を続ける需要への対応を加速

世界のデータセンタの市場規模は、

**2029年に
6,000億ドル
(90兆円) 以上**

世界のデータセンタサービスの
市場規模（売上高）の推移

(単位：億ドル)



出所：
「令和7年版 情報通信白書（総務省）」より当社作成

増産対応

ローラブル
リボンケーブル

MTフェルール

DFBレーザ
チップ

25年度の製造能力（23年度比）

下期～
2倍

5倍以上

放熱・冷却システム

従来の空冷モジュールに加え、
水冷モジュール製造工場
を立上げ
(26年度下期稼働予定)

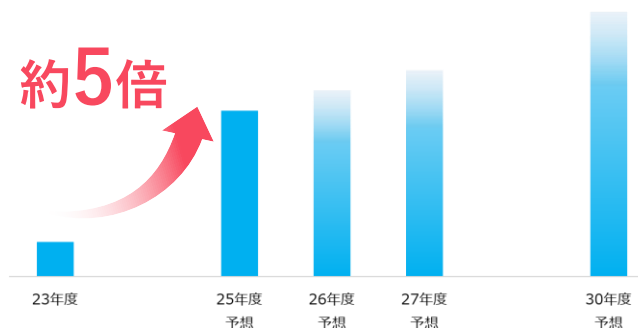


FTL（フィリピン）水冷工場

データセンタ関連製品の売上高推移

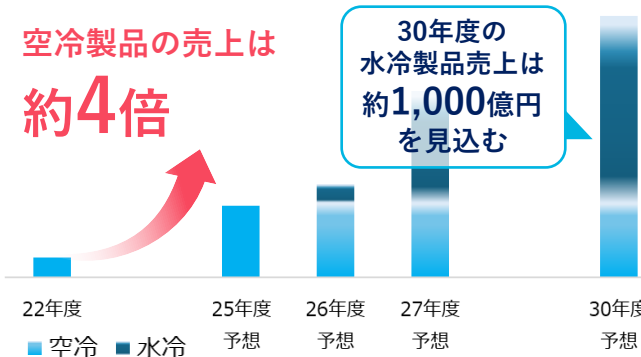
光ファイバ・ケーブル、光部品
(左記以外の製品の売上を含む)

約5倍



放熱・冷却システム

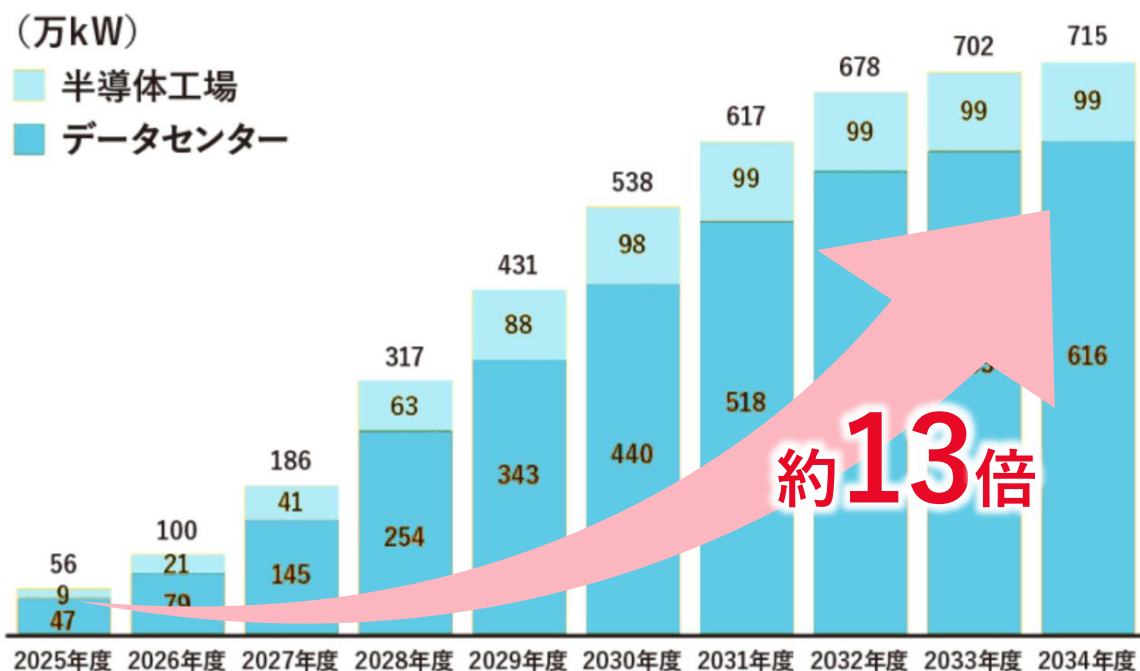
空冷製品の売上は
約4倍



30年度の
水冷製品売上は
約1,000億円
を見込む

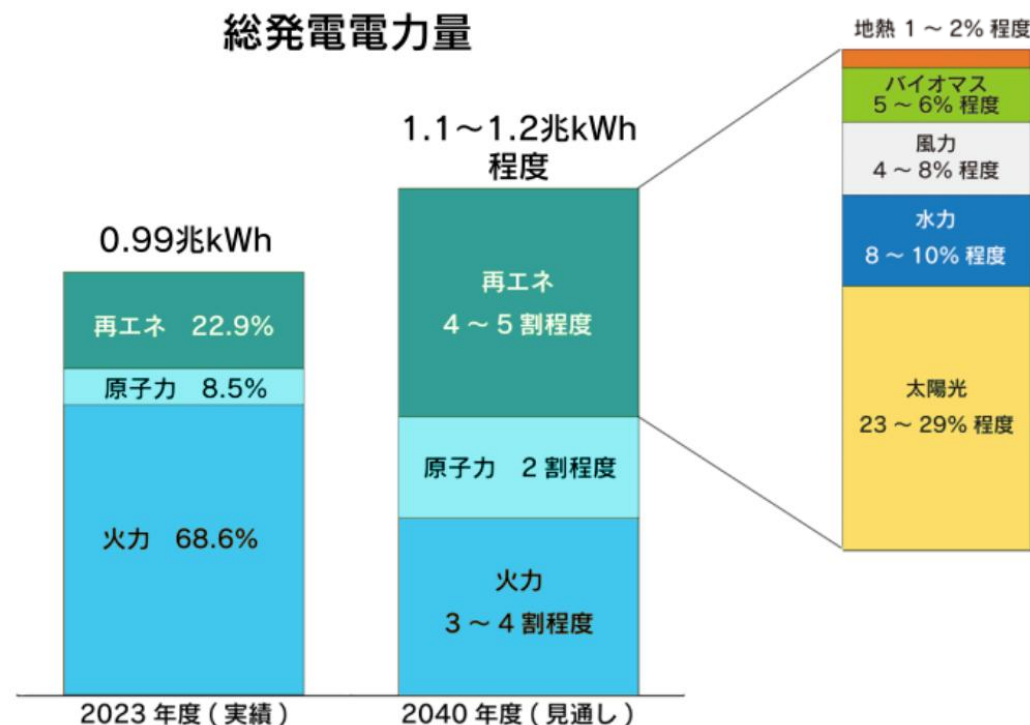
増加する電力需要とエネルギーミックスの見通し

国内データセンターの新增設による
最大需要電力は10年後に約13倍



出所：「AIの普及により電力需要が急増！ 電力不足を防ぐ取り組みを解説」より当社作成（JOGMEC）

2040年度の総発電電力量に占める
再生可能エネルギーの比率は大幅に増加



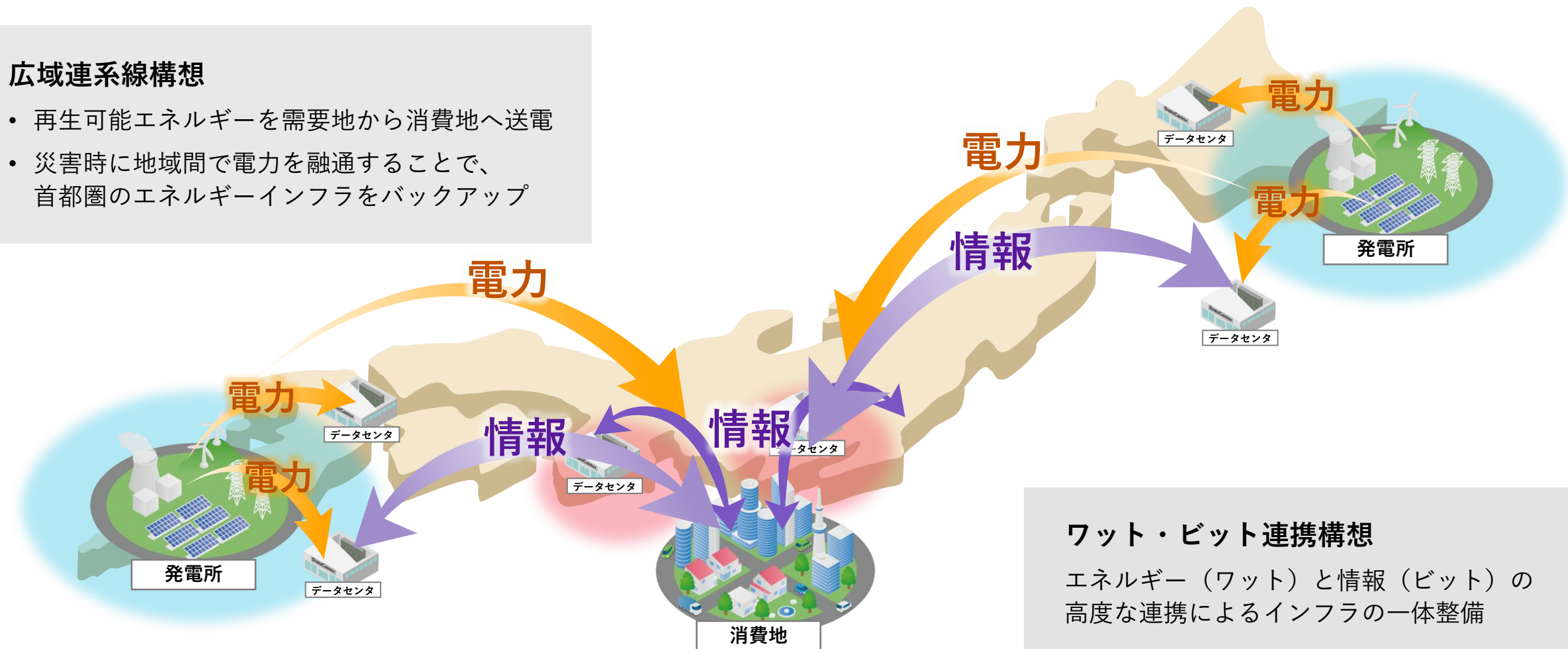
出所：「2040年における再生可能エネルギーの導入見通し」より当社作成（（一社）日本電気工業会）

データセンタ市場の拡大に対応する政府の施策

再生可能エネルギーの大量導入への対応と電力レジリエンスの強化を目的とした
政府による施策が進行中

広域連系線構想

- 再生可能エネルギーを需要地から消費地へ送電
- 災害時に地域間で電力を融通することで、首都圏のエネルギーインフラをバックアップ



ワット・ビット連携構想

エネルギー（ワット）と情報（ビット）の
高度な連携によるインフラの一体整備

広域連系線構想で活用されるHVDCケーブルの生産に係る設備投資を発表

千葉県富津市の新工場を中心に 約1,000億円のHVDCケーブル製造設備を導入

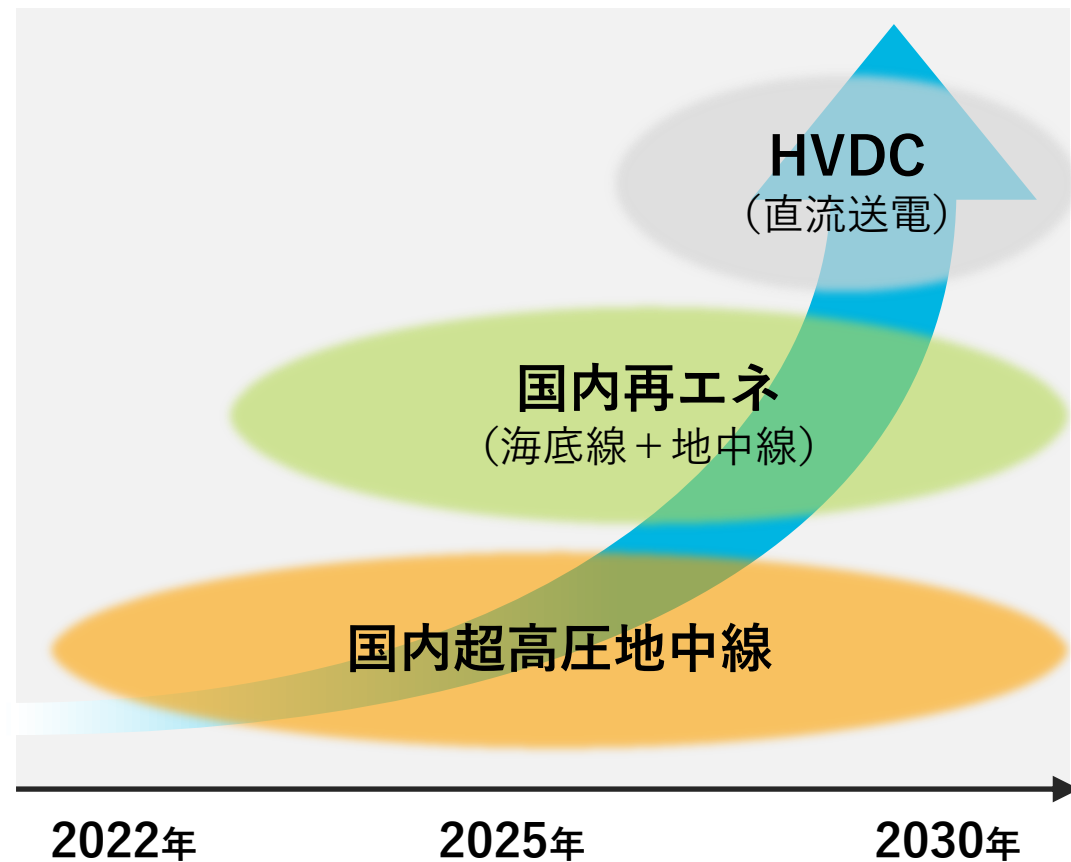
- ・ 経済産業省のGXサプライチェーン構築支援事業に採択
- ・ 最高電圧である500kV級のHVDCケーブル製造を目指す
- ・ アジアを中心とした海外展開を進める

HVDC（高電圧直流）ケーブルとは

交流送電に比べ送電損失が少なく、長距離・大容量送電に適している。主に海底に布設して、風力発電などの再エネを遠隔地から大消費地へ送る、地域間連系・導入拡大に貢献する重要な技術。



新工場への設備投資で成長戦略を加速



ビジョン2030の達成さらにはパーパスの具現化により、さまざまな社会課題へ対応



フェイズ
3

人と社会の「つづく」をつくる新規領域への挑戦

- ・ レーザ応用
(インフラレーザ®、BRACE®)
- ・ 医療部材・機器
(NT製品、光プローブ、レーザ機器)

フェイズ
2

エネルギー管理による持続可能な社会実現への貢献
(データセンタの高機能化と電動車対応)

- ・ 再エネ海底/地中線、広域連系線
- ・ グリーンLPガス
- ・ 超電導
- ・ 光電融合(ELS、メンブレン変調器)
- ・ 高圧ワイヤハーネス/コネクタ
- ・ 高圧部品/ジャンクションボックス

フェイズ
1

データセンタの大容量化とそれを支える省エネソリューションの展開

- ・ プリコンケーブル*
(RRケーブル+MTフェルール)
- ・ DFBレーザチップ
- ・ ヒートシンク
- ・ 半導体製造用テープ
- ・ HDD用アルミブラנק
- ・ 高周波基板用銅箔

*コネクタ付きケーブル

All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

財務・業績の状況

25年度 上半期決算実績および通期予想

第2四半期の実績は累計で前年比増収増益、通期予想は前年比で増益

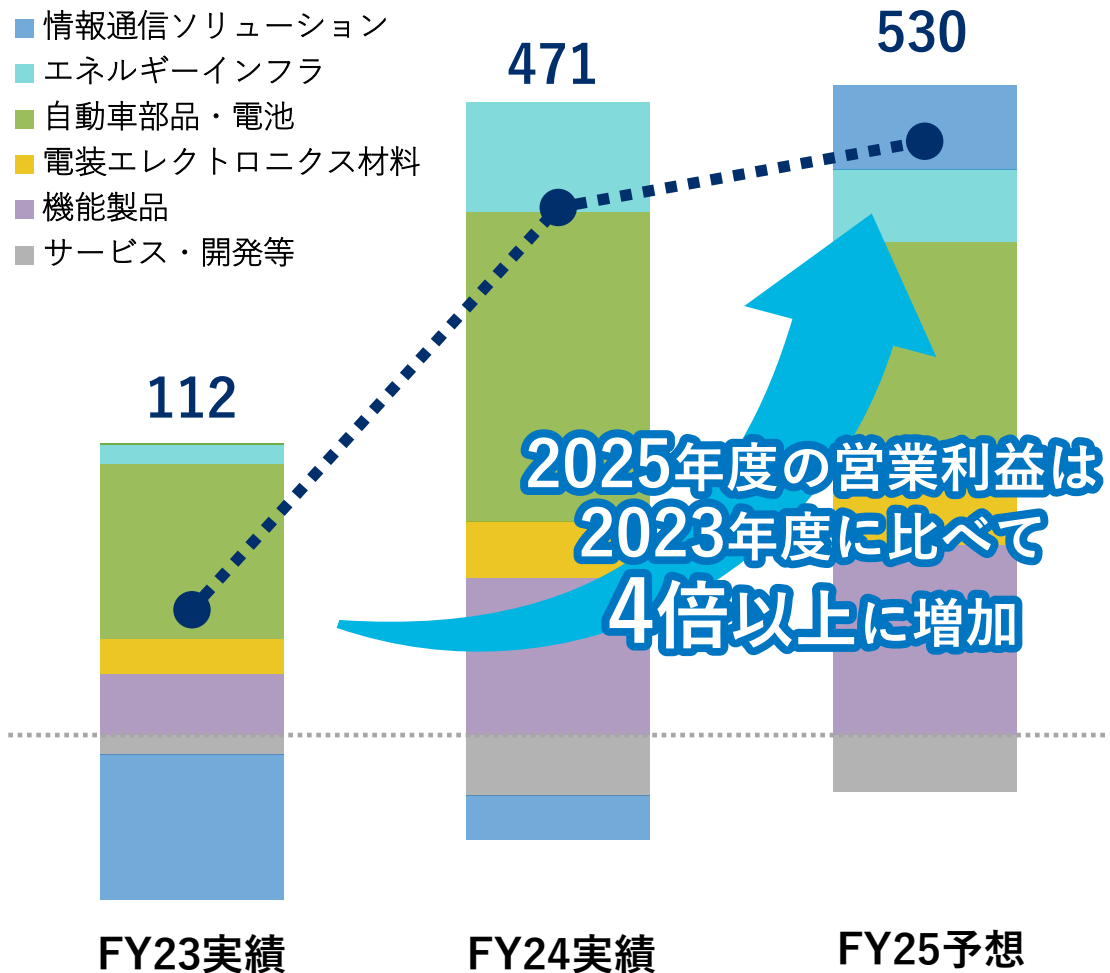
	FY24 Q2累計	FY25 Q2累計	前年比	FY24	FY25 最新予想*	前年比
(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	a	b	b-a	c	d	d-c
売上高	5,704	6,107	+403	12,018	12,000	▲ 18
営業利益	175	194	+18	471	530	+59
経常利益	190	205	+15	486	520	+34
親会社株主に帰属する 当期純利益	112	129	+18	334	360	+26
銅建値 平均	1,497	1,461	▲ 36	1,478	1,398	▲ 80
為替 平均	153	146	▲ 7	153	143	▲ 10

H2前提
銅建値：
1,335円/kg
為替：
140円/米ドル

*2025/11/10公表

営業利益の推移（3ヵ年）

単位：億円



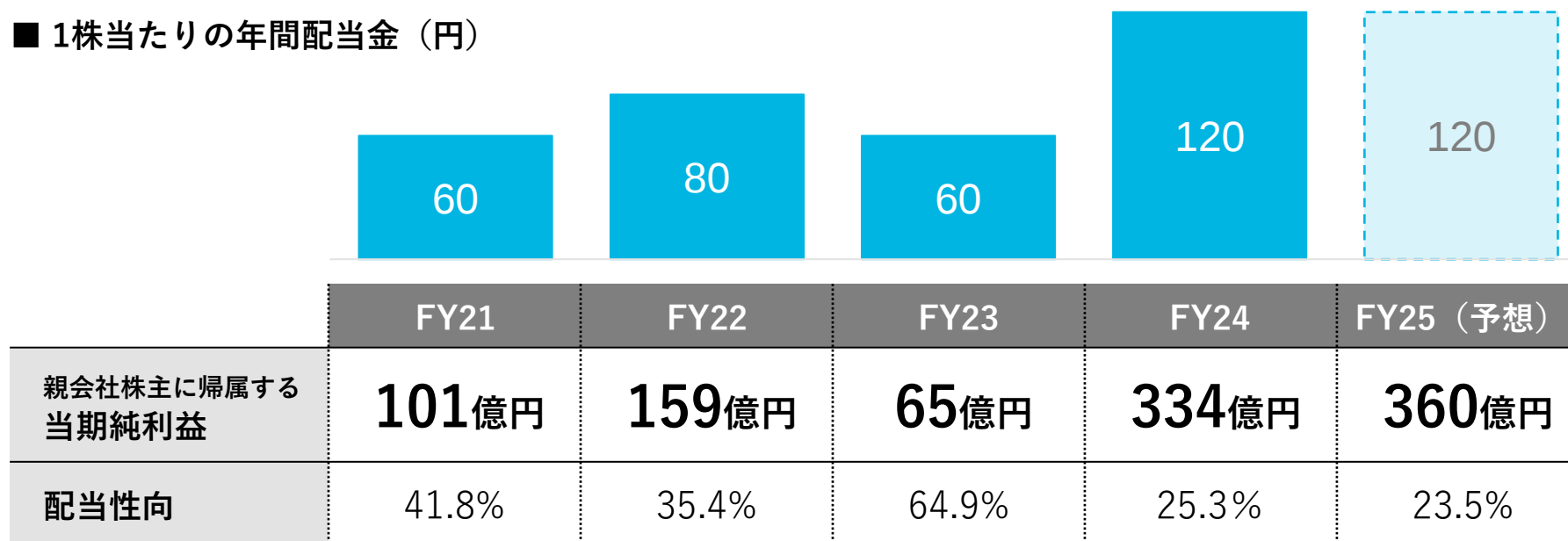
経営数値目標（25中計目標）

2022/5/26公表

ROE	11% 以上
自己資本比率	35% 以上
売上高	1.1兆円 以上
営業利益	580億円 以上
親会社株主に帰属する 当期純利益	370億円 以上

期末配当は、1株当たり120円を予想しております
(2025年5月13日公表値を据え置き)

■ 1株当たりの年間配当金 (円)



株主還元 の方針

安定的かつ継続的に株主還元していくことを基本方針とし、
親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目途として業績に連動した配当を実施

All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

ご清聴ありがとうございました

Thank You

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。

